

|  |   |  |
|--|---|--|
| <b>研究構想シート</b>   | 学校名   | 安来市立島田小学校  |
|  | 氏名  | 山崎規子   |
| A 研究主題 自ら学び、ともに高め合う子どもの育成～CTの効果的な活用を通して～   |   |  |
| B 研究の目的 「自ら学び、ともに高め合う子どもの育成」を目指し、主体的に課題に取り組み、対話を通して学びを深めるための授業の在り方を探る。   |   |  |
| <p>C 子どもの実態</p> <p>○課題にまじめに取り組むが、主体性が弱い。</p> <p>○自分の考えをもち、表現しようとする。</p> <p>○語彙が少なく、表現力は十分でない。</p> <p>○ペア、グループ活動に慣れてはいるが、聞く意識が低く、対話が続かない。</p> <p>○学力の差が大きく、支援の必要な児童が多くいる。</p> | <p>E 手立て・内容(研究仮説)</p> <p>視点1 主体的に取り組むための単元構成の工夫(CTの活用場面を考えて)</p> <p>○導入、課題設定の工夫 ○見通し、ゴールの設定</p> <p>○課題解決に向けた手立ての提示 ○操作活動や調べ学習、学び方の選択</p> <p>○授業につながる家庭学習</p> <p>視点2 対話を通して学びを深めるための工夫(CTの活用場面を考えて)</p> <p>○学習形態の工夫 ○考えの可視化、共有方法の工夫</p> <p>○思考ツールの活用 ○対話の目的、視点の明確化</p> <p>○変容が見取れる振り返り</p> | <p>D めざす子どもの姿</p> <p>○主体的に取り組む子ども</p> <p>・興味や関心をもち、課題意識がはっきりしている。</p> <p>・課題解決への見通しをもっている。</p> <p>・課題解決に向けて主体的に行動し、判断している。</p> |
|  | <p>F 検証方法</p> <p>○研究授業で評価規準や研究の視点を設定する。</p> <p>○児童の発言や行動、記述をもとに変容を見取る。</p> <p>○学力調査や学校評価(アンケート)の結果を分析する。</p>  | <p>○対話を通して学びを深める子ども</p> <p>・多様な考えにふれ合い、見方考え方を広げている。</p> <p>・自分の考えを振り返り、学びを自覚している。</p>  |
|  | <p>G 研究計画</p> <p>○1学期:研究の基盤づくり(めざす姿、視点や取組内容、研究計画等)<br/>夏季休業中:校 校内研修(ICT活用、デジタル・シティズンシップ教育等)<br/>授業構想、指導案作成</p> <p>○2学期:研究授業、環境整備(授業公開、研究協議、研修会等)</p> <p>○3学期:研究の視点、取組内容の検証、評価<br/>ICTの活用に関する系統表の作成、実践収録の作成<br/>次年度の見通し</p>  |  |